



つとむ通信

ともに変えよう富津の未来
ともに創ろう富津の未来

千葉県議会議員 渡辺つとむ事務所
千葉県富津市千種新田375-5

TEL 0439-65-0526 FAX 0439-65-0683

e-mail tsutomu364@rondo.plala.or.jp



ホームページ

政策討議資料

No.37 令和8年 春 活動報告

千葉県議会議員 渡辺つとむは、令和7年9月議会で一般質問に登壇、また12月議会及び令和8年2月議会においては港湾の課題や東京湾の環境問題、またそれに関連する漁業の課題について等、地域の諸問題について県の姿勢を質しました。また所属する県土整備常任委員会では事業継続中の地元の道路整備の進捗と進め方について県の見解を伺いました。今回はその報告をいたします。どうか「議員は選挙の時ばかりお願いに来る。」とおっしゃらないでください。そしてぜひ皆さんのご意見をお聞かせください。

令和7年10月県土整備常任委員会 補正予算案について

千葉港コンテナターミナルのガントリークレーン1号機については、令和7年4月15日の事故発生以来使用を停止しており、県は早期の復旧に取り組んでいると聞いている。修繕にあたっては事故の相手方との交渉や、工事の実施方法の検討も必要だと思うが、現在1基のみの稼働となっていることから港湾利用に対する影響を考慮すると、1日も早い1号機の復旧が望まれるところだ。そこで伺う。

問1 本年4月にガントリークレーンが破損して半年近く経過しているが現在の状況はどうか。



答弁 相手方の船会社と交渉が整い、県が修繕工事を実施し修繕完了後に相手方が費用全額を負担することとなった。

問2 ガントリークレーン1号機の復旧の見通しについてはどうか。

答弁 年度内に修繕工事を完了し、使用できるように取り組んでいる。

県道君津青堀線 道路拡幅工事の 進捗について

県道君津青堀線(君津駅方面から青堀駅東側、二間塚を經由し富津市役所方面に抜ける道路)は約10キロメートルの県道で、地域の日常生活を支える大変重要な道路だ。しかし二間塚地先の飯野橋付近は、道路が非常に狭くボトルネック状態にあり、車両のすれ違いが困難な状況で、円滑な交通に支障をきたしている。県ではこの箇所の道路拡幅の整備を進めており、7月には地元説明会が開催されたと聞いている。地元からは早期の完成を期待する声が大変多い。そこで伺う。

問 県道君津青堀線 富津市二間塚地先の道路拡幅工事の進捗状況はどうか。

答弁 県土整備部長 ご指摘の二間塚地先では道路の幅員が狭く車両のすれ違いに支障をきたしていることから、ボトルネックとなっている約0,2キロメートル区間で道路の拡幅事業を行っている。7月には用地買収に向けた地元説明会を開催し、まずは地権者に対して物件調査に入るための個別説明を実施しているところだ。引き続き遅滞の無いよう、事業を推進してまいります。

要望 地元の地権者に対し、用地交渉の説明に入っているとのこと。今後の事業の進捗に期待する。地元住民のみならず、市民の多くが早期の拡幅を望んでいるので速やかに用地取得に着手し、早期整備を図るよう要望する。

令和8年3月県土整備常任委員会質疑(昨年10月補正関連質疑)

昨年10月の補正予算案の審査の中で、渡辺つとむは千葉港コンテナターミナルのガントリークレーンの事故損壊の件を質しましたがその後の経過について令和8年3月に再度質問をしました。

問1 昨年4月の事故以降、千葉港コンテナターミナルのガントリークレーン1号機は使用を停止している。昨年9月に修繕について補正予算措置を講じたところだ。

今年度内の修繕工事完了を目指すと回答を受けているところだが、再稼働の見込みはどうか。

答弁 港湾課長

年度末までに修繕工事が完了し、クレーンの稼働を再会できる見込み。

問2 ガントリークレーン1号機の再稼働に当たり、県としてどのように取り組んでいくのか。

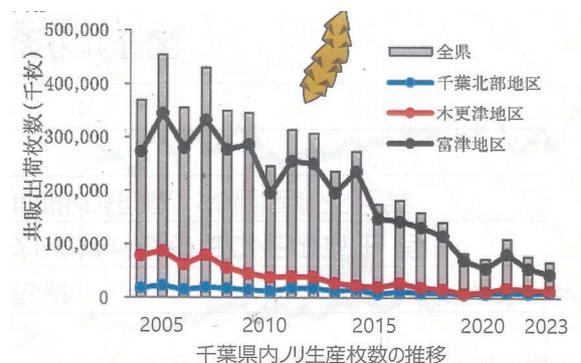
答弁 港湾関係者を対象とした注意喚起文書の発出や連絡会議の開催を実施してきたところ。引き続き、再周知を継続的に行うなど円滑な利用が図られるように取り組んでいく。

要望 港湾利用者の利便性向上を図り、コンテナターミナルの更なる利用促進を目指すため、再稼働にあたり、県にはしっかりと取り組んで頂くよう要望する。

9月議会一般質問



東京湾内の環境について

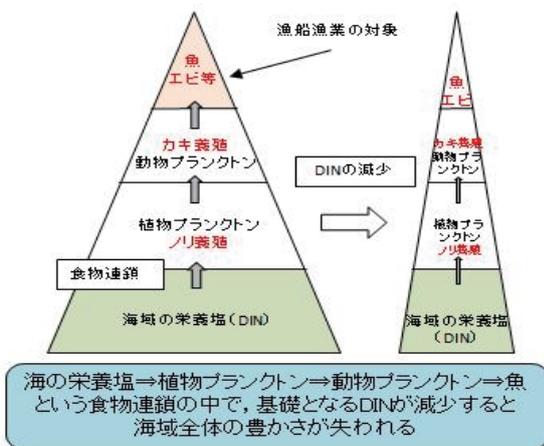


近年の環境変化に伴う漁業資源の減少に伴い、漁業従事者の高齢化や後継者不足等、漁業を取り巻く環境は厳しさを増している。江戸前の海の幸を守っていくために漁場環境の改善と漁業生産の向上の課題について何度か取り上げて来たがその中で今回「汚水処理施設における紫外線殺菌装置の導入に関する支援」の要望が関係する漁業団体から出されたと聞く。これらの課題に対しては、日々海に接して環境変化を実感している漁業者の声を聴き、関係する団体が協力して有効な方策を探っていく必要があると考える。そこで何う。

問1 下水処理場で行われている塩素消毒の目的と放流先への影響はどうか。

答弁 都市整備局長 下水処理場では、感染症の原因となる病原性微生物を削減し公衆衛生を確保するため、放流水の塩素消毒を実施している。消毒に用いる塩素剤は水中で急速に分解し濃度が低下する性質を有しているため、放流水の水域に残留し続けることはない。また放流先の環境に影響が生じないよう放流水に含まれる塩素剤の濃度を確認するため定期的に測定を行い、使用量を最小限に管理している。

【海の生態系ピラミッド】



問2 下水処理場の処理水について、紫外線消毒の普及状況はどうか。

答弁 下水処理場における紫外線消毒の普及状況は、日本下水道協会が実施している下水道統計によると、令和4年度時点で全国の下水処理場約2,000か所のうち、紫外線消毒装置を導入している下水処理場は約140か所ある。なお、紫外線消毒装置は処理人口が数千人程度と小規模な処理場ほど導入事例が多くなっている。

要望 東京湾の環境変化には、様々な要因が関係していると考えられる。それを踏まえ、漁業者から強く求められている漁場環境等の改善について、各関係分野で連携して丁寧な説明と取り組みを行うことを要望する。

解説 この質問は内房地域の住民が肌で感じている「東京湾に住む魚介類の減少」、そしてその変化に翻弄される地元の漁師さんや海産物業者の窮状について、まずはその要因を明らかにしてその具体的な対策を取るべきという観点から3年前の当選以来、渡辺が何度も取り上げて来た課題です。その要因の一つに「海に流れ込む下水処理水の塩素消毒」の影響があるのでは？という指摘は大学教授や学識経験者の中でも指摘されつつあります。この質問の後、県や国でも少し動きが出てきました。

年が明けて令和8年2月には、東京大学の新領域創成科学研究科教授の佐々木淳先生を座長とする「第一回富津沖漁場環境改善協議会」が開催され、地元富津の高橋市長や漁業関係者、そして水産研究・教育機構水産技術研究所の主任研究員や千葉県農林水産部の担当者、水産総合研究センターの所長等に混ざり不肖私、渡辺つとむも委員として出席させていただきました。

加えて2月末には環境省が、プランクトンの養分となる窒素やリンといった「栄養塩」の海への流入規制を、東京湾や伊勢湾で緩和する方針をまとめました。これは水質改善というこれまでの環境対策で海水中の栄養塩が減少し、養殖ノリの不作や貝などの不漁を招いていると考えられるため、先行する瀬戸内海と同じように、「浄化処理を適切にした水を海に戻し、栄養塩濃度を高める取り組みを関係する都県で導入できるようにするもの。環境省の審議会が近くまとめる答申を踏まえ、水質汚濁防止法などの改正作業に着手するという方針で、地元関係者との協議やモニタリングなどが条件となる見通しです。

つまり排水の塩素消毒等による「水質改善」を進めてきたことにより海が過度に栄養塩不足となり、海中の植物性プランクトンなどの栄養となる窒素やリン等が減ってしまったこと。これが海の生態系になんらかの影響を与えている可能性を環境省が認め、科学的な根拠を踏まえれば、栄養塩の規制を緩和できるということ。

今後の東京湾の水質環境について、大きな一歩を踏み出そうという歴史の転換点に立っている気持ちです。もちろん人体に悪影響を及ぼす物質を流すことはダメですが、窒素やリンといった植物性プランクトンが生きていくうえで重要なものの規制が緩和されることによりかつての「宝の海東京湾」を取り戻し、「江戸前の魚介類」の復活を目指して取り組んでまいります。

✚ 君津健康福祉センター運営協議会 報告

かずさ4市の医療福祉や保険行政を管轄する君津健康福祉センターの運営を監視する協議会は4市の市長をはじめ県議や歯科医師会長等で構成されています。昨年11月に行われた協議会での渡辺つとむの質疑の内容報告をいたします。

問 渡辺 「困難な問題を抱える女性・DV被害者支援事業」について、具体的に問題を抱える女性の相談は無かったということだが、ほかの地域ではどの程度あるか把握されているか。

答弁 地域福祉課長

昨年度に管内4市と県女性サポートセンターとで担当者会議を行った際に、他地域ではどうかと投げかけたところ、新法施行後そういった相談は未だ無いと聞いている。

問2 困難な問題を抱える女性はDVだけではなく借金や売春等いろいろな問題があるが、新法の中では支援センターや相談窓口を作ることになっている。どのくらい問題を抱える女性たちに周知されているのか。対策があれば伺う。

答弁 県の児童家庭課がホームページや県民だより等の広報媒体で周知している。その他に千葉県のSNSでの相談窓口、LINEで「むすびめ@千葉女性相談」を実施している。国も女性支援センターで短縮ダイヤル#8778「話そう悩み」をやっている。そこにかけられた電話は女性サポートセンターにつながるようになっている。市の広報も活用させてもらっている。

要望 この分野では表に出てこない問題があり根が深い。少しでも課題をあぶりだして取り組みを有効に続けるよう要望する。

✚ 活動報告 県内外の視察報告です



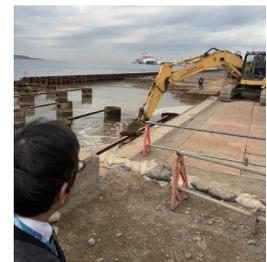
完成間近の圏央道視察
令和8年度全線開通予定



フェーズフリー議員連盟で
研究発表会参加



県土整備常任委員会開会前



千葉港埋め立て現場視察

渡辺つとむプロフィール

昭和36年4月25日富津市千種新田生れ
県立木更津高校卒
立教大学経済学部卒(弁論部出身)
工学院大学専門学校建築科研究科卒
藤和不動産(株)財務部に勤務後
現在家業(有)渡辺サッシ代表取締役



元富津市議会議員(令和2年～令和3年)
富津市バドミントン協会会長
富津市国際交流協会副会長
自民党千葉県議員団23会代表
令和5年4月 千葉県議会議員当選
千葉県議会 県土整備常任委員会委員
県議会 議会運営委員会委員
千葉自民党政調会 委員